



麻しん(はしか)・  
風しんを  
防ぎましょう

麻しん(はしか)は  
こんな病気です

麻しんは感染力が非常に強いため、いったん発生するとまん延防止が困難で、幼稚園や学校・会社等で流行すると、予防接種が1回のみ、または全く予防接種を受けていない等により免疫がない人は、ほとんど全員が感染します。

麻しんは10〜12日の潜伏期間後に症状があらわれ、最初3〜4日間は38℃前後の発熱とせき・鼻水といった風邪に似た症状があり、いったん熱が下がりがよくなったように見えます。

しかし、その後に39〜40℃

の高熱とともに発疹が出てきて全身に広がり、頬の内側には麻しん特有の白いポツポツが出ます。せきもひどくなると体力の消耗も激しく、重症化すると脳炎や肺炎、中耳炎等の合併症を起こすことの多い恐ろしい病気です。

風しんは  
こんな病気です

風しんは、咳・くしゃみ等での飛沫感染によつて感染する、急性の発疹性感染症です。ウイルスは、のどや首のリンパ節で増殖し血液中に入ります。赤いポツポツが顔から全身に広がり、同時に38℃程度の発熱が出ますが2〜3日で下がります。首や耳の後ろ、後頭部のリンパ節が腫れますが、症状が軽く特別な治療をしなくても自然に治ります。

潜伏期間は約2〜3週間と長く、発疹の出る2〜3日前から感染力があります。また、感染しても症状が出ない人もいるため、知らないうちに感染していることもあります。

ただし、妊娠中の女性(特に妊娠20週頃まで)が風しんにかかると、生れてくる赤

やんに難聴・白内障・心臓病や発達の遅れ(先天性風疹症候群)等が出る可能性があります。

◎MR(麻しん・風しん)  
予防接種を受けましょう

MR(麻しん・風しん)予防接種は、予防接種法に基づく定期予防接種です。1回の接種で95%以上の確率での免疫をつけることができるものの100%ではなく、免疫力も徐々に低下することから、2回の接種が必要です。

対象者すべての方々に対象期間内に必要な回数の接種を受けていただくことが、最も麻しん・風しんの予防・流行の防止に効果的です。

進学や就職の際には「麻しんの予防接種をうけていること」が求められることもありますので、忘れずに接種しましょう。

- ◎第1期  
・接種時期 1歳〜2歳未満  
(2歳の誕生日の前日まで)
- ◎第2期  
・接種時期 小学校就学1年前の4月1日〜翌年3月31日(年長児)

◇接種料金

接種期間内は全額公費負担ですが、その期間を過ぎると全額自己負担(1万円位)になります。

◇接種方法

下表の予防接種協力医療機関で接種を受けてください。  
\*事前に予約が必要です。

◇問合せ 健康増進課(保健

センター) ☎885-1188



## 休日当番医

診療時間：午前9時〜午後4時  
都合により当番医を変更することがあります。  
※お問合せ先：なるしま内科医院 ☎869-4820

月	日	当番医	連絡先
2月	16日(日)	はたかわ医院 佐倉クリニック	美浦 稲敷 ☎885-2358 ☎892-7011
	23日(日)	美浦中央病院 江戸崎ひかりクリニック	美浦 稲敷 ☎885-3551 ☎834-5777
3月	2日(日)	さかえ医院 いなしきクリニック	阿見 稲敷 ☎888-2662 ☎892-3372
	9日(日)	森脇整形外科 いわき内科クリニック	阿見 稲敷 ☎843-7888 ☎875-5100

予防接種協力医療機関	連絡先
美浦中央病院	☎885-3551
はたかわ医院	☎885-2358
東京医科大学茨城医療センター	☎887-1161
宮崎こどもクリニック	☎891-3000
江戸崎ひかりクリニック	☎834-5777
坂本耳鼻咽喉科医院	☎892-2627
佐倉クリニック	☎892-7011
鈴木クリニック	☎892-3640